



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

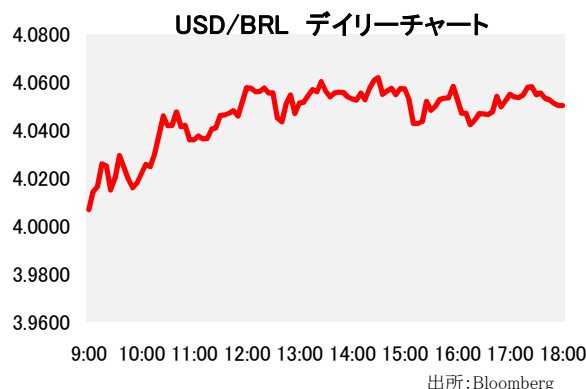
1. マーケット・レート

			9月16日	9月17日	9月18日	9月21日	9月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8290	3.8970	3.9450	3.9850	4.0500	+0.0650
	BRL/JPY	Spot	31.48	30.78	30.42	30.25	29.67	-0.58
	EUR/USD	Spot	1.1291	1.1429	1.1302	1.1190	1.1127	-0.0063
	USD/JPY	Spot	120.58	120.00	120.00	120.57	120.16	-0.41
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.514	14.534	14.698	14.790	14.991	+0.201
	Future	1Year(p.a.)	15.026	15.115	15.405	15.546	15.669	+0.123
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	2.651	2.746	3.116	2.944	3.142	+0.198
		1Year(p.a.)	3.646	3.741	4.297	3.989	4.112	+0.123
株式	Bovespa指数		48,553	48,551	47,264	46,590	46,265	-325
CDS	CDS Brazil 5y		373.91	379.31	396.53	427.67	462.50	+34.83
商品	CRB指数		198.976	198.215	194.184	196.846	194.819	-2.03

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

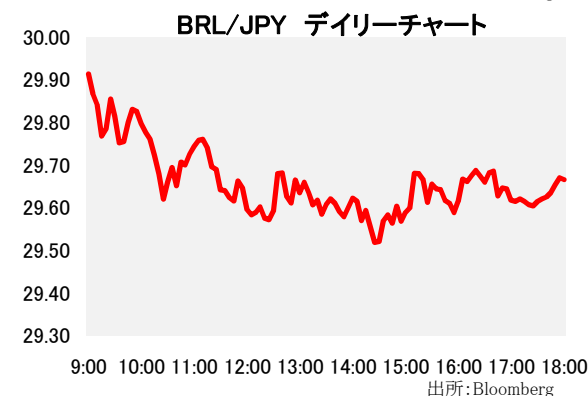
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.38%	0.39%	0.43%
経常収支	-\$3200M	-\$2487M	-\$5721M
海外直接投資	\$3500M	\$5246M	\$5993M
(米)FHFA住宅価格指数(前月比)	0.4%	0.6%	0.2%
(米)リッチモンド連銀製造業指数	2	-5	0



3. 要人コメント

レヴィ・伯財務相	ブラジルには経済成長と経済発展の計画、財政のバランスとインフレ抑制が必要であり、財政出動のみに頼ることは現実的ではない。
----------	--



4. トピックス

- 議会在今晚にも大統領不信任の採決を実施する可能性があるとの報道を受けて、本日のレアルは史上最安値を更新して、本日の高値となる4.0070で寄り付いた。直後には4.02台まで一気に売られて、その後もレアルの安値を試す動きが続いた。欧州株式市場が自動車株主導で下落したことからマーケットがリスクオフムードになったこともあり、レアルはジリ安の展開となった。レアルが史上最安値を更新する中、伯中銀からは特段新しい対策は打ち出されず、レアルは本日の安値となる4.0660を示現した。暫くすると今夜予定されていた大統領不信任案の採決が延期されるとの報道が出るとレアルは安値圏で揉み合いとなり、結局4.0500でクローズした。
- フォルクスワーゲン社が排ガス規制を不正に逃れていた問題では、米当局が最大で180億ドルの制裁金を検討している模様で、ドイツの当局も調査に乗り出している。自動車関連株主導で独DAX指数は前日比3.8%の大幅安となり、他の欧米株式市場も追随した。
- 引け後に発表されたニュースでは明日、格付け会社フィッチの調査チームがブラジル中銀の理事たちと会合を行う模様。現在同社のブラジルに対する格付けはBBBのネガティブアウトlookとなっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しく願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。